

葦 森 の 風

2011年を迎えて

各地で豪雪の知らせが聞こえて来た、年末年始。本校では大きな事故や事件が無く、無事に始業式を迎えることができ、大変感謝しています。2学期は、統廃合に関わる新しい学校づくりの関係で、大いに揺れることが多く、この通信もなかなか発刊できず、心から反省をしています。

平成23年の年始にあたり、雑感を述べさせていただきたいと存じます。

○3年生の皆さんへ

毎年ではありますが、年が明けると3年生の皆さんに対して、いよいよ義務教育が修了する時期が迫って来ていることをきちんと伝えられているだろうか、不安になることがあります。終業式などでも、皆さんには伝えていますが、本年度も3年生の諸君が多面で活躍してくれていて、そのお蔭で、1・2年生も徐々に軌道に乗って来れていると感じています。今は、それぞれの進路決定に向けて、全力で頑張ってくれている時だと思いますが、3年生の諸君は、自分たちがこれまでこつこつと重ねてきた努力に対して、大いに自信と誇りをもって義務教育を卒業して行って欲しいと願っています。社会に出てから思うことですが、苦しいことや楽しいことがあると、中学校時代の自分の体験と比較することが多いものです。「あのときに比べたらそれほどたいしたことではないなあ。」、「あのときの方が、もっともっと楽しかったなあ。」など。

これからの皆さんにとって、人生のひとつの価値基準となる中学校時代の締めくくりとして、進路実現に向けて、最後まで希望を持って頑張り抜いて欲しいと思います。全力で取り組む姿ほどカッコイイものは無いと、私は思います。

○全国高校サッカー選手権大会を見て

去る10日(日)は、第89回の全国高校サッカー選手権大会の決勝戦が行われ、滝川二高が初優勝を飾りました。高校野球の甲子園大会が今年度が第92回大会であることを思うと、高校サッカーの歴史も変わらず長いものであることに驚きます。決勝戦は、激しい攻防があり、結果は、日本代表の岡崎選手の後輩にあたる滝川二高の優勝で幕を下ろしましたが、岡山代表の作陽高校も含めて、今大会のさまざまなエピソードが紹介される中で、「絆」、「つながり」、「全員」といった話題が例年以上に強く意識されているように感じました。決勝戦の開会式で校歌が流れたときにすでに涙していた、滝川二高の梶(かこい)監督に代表されるように、全国の頂点に集まる指導者や選手・関係者の謙虚で誠実な人柄にあらためて、感心し感動させられました。そのような中で、日本の若い世代には、大いに期待できる人材がたくさんいるんだということを強く確信しました。



【協同学習・熱海宿泊研修に参加】

1月9・10日と、毎年恒例の熱海で、協同学習の宿泊研修会に、本校から4名の先生方が参加してくださいました。私も昨年度、研究主任の三宅先生と一緒に参加させて頂きましたが、全国の、小・中・高の公立・私立の先生が300人ほどが一同に集まる研修会で、内容の濃いものでした。

今年の参加者は、中桐教頭先生・大森先生・塩満先生・谷口先生の4名の先生方でした。特に、谷口先生の2学期の授業の様子が、分科会で50分ほどビデオで流れ、研究協議の提案授業となりました。課題や成果を各自が持ち帰ってください、これからの足守中学校での協同学習の推進に向けて大きな原動力となってくれるものと楽しみにしています。

【2月15日 第3回協同学習公開授業】

日時 ; 2月15日(火) 10:50~14:45 3~5限
場所 ; 5限 体育館 3・4限各教室・特別教室等
公開授業; 大森先生 2年生 社会

ぜひ、お誘いあって、ご参観ください。

青木政之先生ご着任

12月29日より、2A担任の長崎陽日先生の代員として、青木政之先生が、足守中学校に、着任されました。2Aの学級担任は、昨年末に引き続き、学年運営主任の三宅裕之先生にお願いしています。1~3年の美術の授業やボランティアのお世話をお願いしています。

